

平成27年9月 定例委員会会議録

- 1 日 時 平成27年9月29日(火) 午後1時30分～
- 2 開催場所 会議室301
- 3 出席委員の氏名
委員長 齋藤和夫 委員長職務代理者 黒川優子
委員 山崎克弥 委員 中野信男
委員 秦久美子 教育長 上原洋一
- 4 欠席委員の氏名 なし
- 5 説明のため出席した職員
教育次長 金子彰男 主 幹 長谷川 智
学校教育課長 山田公一 子育て支援課長 宮路 豊行
社会教育課長 堀 克彦 学校教育課指導主事 尾崎 誠
- 6 本委員会書記
学校教育課 加藤 篤聡 他1名
- 7 傍聴人
2名
- 8 会議に付議した事件
諸報告
(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 共催・後援の教育長専決報告(10件)

協議題
(1) 新規共催・後援申請について(6件)

その他
(1) 市議会9月定例会一般質問について

会議録 別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 中野 信男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

○委員（黒川 優子）

最近、学校現場へ視察に寄せて頂く機会が減ったように感じる。学校現場で頑張っている先生がどんな取組みをして、学校としてどう伸びていっているのかを見せて頂きたい。ぜひ計画を立てて頂ければありがたい。

○学校教育課長（山田 公一）

次回の定例教育委員会の前に視察を入れさせて頂く予定であった。今後については、頻繁に視察できるように配慮したい。

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

● はじめに

○ 9月3日（木）姉妹都市交流事業として米国ダンディ村に派遣された生徒4人の報告会が行われた。ホストファミリーをはじめ現地の人々と交流を深めた。

○ 9月19日（土）、平成27年度 Jack & Betty プロジェクト海外派遣事業親善大使報告会が行われた。12人の大使はオーストラリアのパス、シンガポールでの充実した活動による成果や、英語の力を一層伸ばすことや将来燕に貢献したいことなど今後の目標を来場者に発表した。

● 9月定例市議会（9月7日～10日）

○ 一般質問 18人中7人から教育委員会所管事項に29本の質問があった。主なものは、

○ 通学路の安全対策について。昨年通学路危険個所調査で報告があった87か所を改善していく。

○ 犯罪ゲーム、命を軽く扱うゲームの影響について。ゲームの適切な使用については学校から指導するとともに保護者にも協力をお願いしている。

○ いじめ対策について。学校、家庭、地域、その他関係者と強い連携の下、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めている。

- 国登録有形文化財について。今井家が登録されたことは価値が広く認められたものであり、大変喜ばしい。市 HP 等で紹介するなどして文化財への関心を高めていく。
- 小学校での学習内容が中学校で定着していないことについて。小中学校では未定着部分の補充や学び直し機会を設けるなどしている。
- 中学学力向上について。NRT や全国学力状況調査で国平均を上回ることが一つの目安。生徒一人一人に社会で自立できる基盤となる学力をつけるよう取り組む。
- 食物アレルギー対応について。マニュアルにもとづいた対応が各学校・園で確実に実施されるよう取り組む。
- 市立図書館の今後について。3 か所の図書館の機能充実と設備の長寿命化を図る。
- 不登校の現状について。夏休みの後の出席状況に注意しつつきめ細かくサポートしていく。
- ひとり親家庭支援について。子どもの居場所については、児童クラブ等で対応しており、厚労省の来年度予算要求については情報収集に努めていく。
- 広島平和記念式典派遣について。平和の尊さを理解できる生徒の育成を目的とした事業であり各中学校の報告会で全生徒等に広めていく。
- 川を使った学習について。大河津分水をはじめとする市内の河川が広く活用されるよう働きかけていく。
- 燕市・弥彦村児童生徒科学作品展（9月12、13日 於：吉田産業会館）
- 青少年のための科学の祭典 2015 燕弥彦大会も同一会場にて開催された。園児の展示が増え、実験、体験コーナーのブースも充実しており、参加型体験型のイベントとしても成功した。来場者数は 2,771 人（H26：2,676、H25：2,365、H24：2137）。また、科学の祭典の体験ブースへの参加を延べでカウントしたところ 4,295 人（H26：4,414、H25：3,621、H24：1,608）。

○委員長（齋藤 和夫）

定例市議会の一般質問にも関連する、柳川議員から質問のあった「吉田地区まちづくり協議会主催の文化講演会における今井家13代当主夫人の言葉に対する市の考え方について」という質問について、言葉とはどんな言葉なのか。

○社会教育課長（堀 克彦）

新聞に記事が出ていたが、市の取り組みとしては文化財の登録について、ホームページや文化財の年度版で紹介していきたい。今井家については、基本的に居住しているところもあり、専属の学芸員がいるのでその都度相談していきたい。

○教育次長（金子 彰男）

補足になるが、夫人の方からは今現在居住しているところでもあるので、保存について努力していくのが私の務めですとの話があった。

(3) 共催・後援の教育長専決報告

1 件の共催申請・9 件の後援申請の教育長専決報告について
《山田学校教育課長が説明》

○委員（山崎 克弥）

6 番の「保護者と教職員の会」のエリアを教えてください。

○学校教育課長（山田 公一）

県央地域という括りになっており、三条市・燕市・見附市・田上町・弥彦村に同じように後援申請が出ている。

審議の結果、全員一致で承認された。

4. 協議題

(1) 2 件の新規共催申請・4 件の新規後援申請について

《金子次長、各課長が説明》

<5 番 平成 27 年度キャリア教育小中高連携協議会について>

○委員（中野 信男）

大体の感じは掴めるが、キャリア教育についてこの協議会ではどのように行われるのか、また目指す方向について教えてください。

○学校教育課指導主事（尾崎 誠）

内容については、県立教育センターの指導主事がキャリア教育についての説明をし、例えば学校の事例においてコミュニティスクールでキャリア教育を扱っている事例の紹介がなされる予定。キャリア教育とは何か、簡単に言うと「生き方教室」であって、今まで進路指導として狭い意味で捉えられていたところを「将来の自分が目指す姿を見据えて、普段の生活を振り返る」というものになる。こうした学校の中でもキャリア教育の取組みを推進することで、教育活動全体の活性化を目指したいというものである。

小中高の連携協議会は、学校種を超えて近隣地区の学校がどんなことをやっているか、壁を越えた情報交換を行える場となっており、小・中や中・高の連携が図られる場となっている。

審議の結果、全員一致で承認された。

5. その他

- (1) 市議会 9 月定例会一般質問について
《金子次長が報告》

6. 閉 会 午後 2 時 2 5 分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
